



下水道マニア Vol.13

2021.3 発行

経営戦略

この先の10年間のこと、
下水道部は考えています。

市内の大部分に下水道が行き渡った今、下水道事業は老朽化した下水道管の修繕や改築など新たな課題に直面しています。「建設の時代」から「維持管理・改築更新の時代」へと移行していく中で、将来にわたって安定した下水道サービスを提供し続ける必要があります。下水道部は、「経営」という視点でこの先の10年間を見据えた事業計画を策定しています。

やることはたくさん！

投資計画

老朽化した
下水道施設
の改築更新



大規模災害
への対策



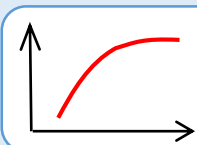
この差をどのように埋めるか考えることが
「経営」です！

財源計画

来るべき
人口減少



下水道使用料
収入の増加は
見込めず



収入は頭打ち！

事業を実施するにあたっての
「投資計画」とこれに対する
「財源計画」を均衡させた
「投資財政計画」を作成し、
財政面での管理も行うことで、
経営基盤の強化と財政マネジメ
ントの向上を図ります。



バランスが大事…



今ある資源を経営に活用できないか？

こんな掛け声から、始めました——

2020年11月13日

部内プレゼン大会

鶴見川クリーンセンターの
水路にいる生き物を活用した
事業を、部内各課で検討。

28案の中から選抜された
6案についてプレゼンを行い
ました。



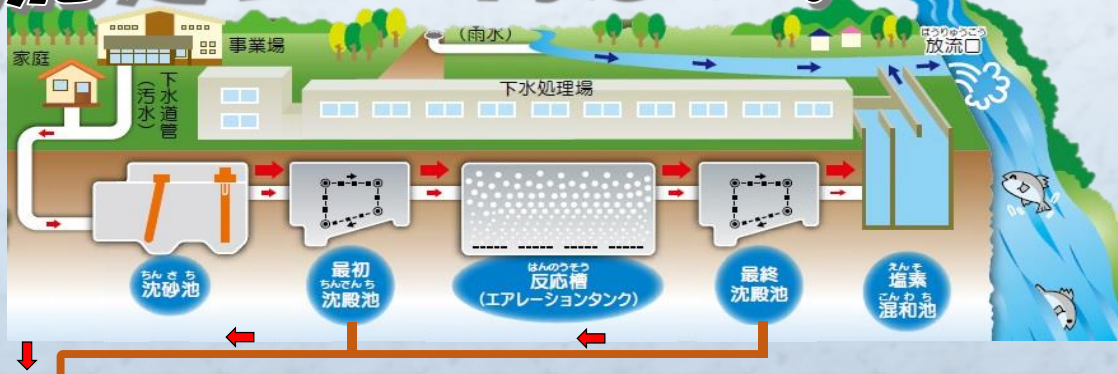
〔提案された企画〕

- ・ボトルアクアリウム
- ・下水処理水で育ててみよう！
- ・生き物を利用した下水道PR
- ・水族館 など



2021年度は、具体化へ向けて
動き出します！

汚泥処理って何だ！？



1. 移送

2. 濃縮・脱水

3. 焼却

4. 搬出

地下を縦横無尽に走る管。この管が污水处理プラントと汚泥処理プラントをつないでいます。



管は色分けされ、白は空気、青は処理水、茶色は汚泥が通っています。



移送された汚泥は、99%が水です。濃縮槽で水分を減らし、脱水機で更に絞り込んで固形物にします。



濃縮槽



濃縮槽内は硫化水素が発生するため、メンテナンス時は細心の注意が必要です。



脱水機



凝集剤で汚泥を粒状にし、プレスして脱水します。



町田市では、2つの処理場から発生する約120tの汚泥を毎日焼却処分しています。



焼却炉



850℃の高温で焼却し、二酸化炭素の298倍の温室効果がある一酸化二窒素（N₂O）の削減に努めています。

焼却した汚泥は焼却灰となり、特殊な車両で外部へ搬出します。焼却灰は100%建築資材にリサイクルされます。



灰ホッパー



汚泥処理が止まると、下水処理場全体が止まってしまうので、細心の注意を払って運転管理をしているんだ。

